

寝屋川市内で『実働型避難訓練の事前学習』を実施しました！

日時：2016年12月5日（月）（14：30～15：20）

場所：寝屋川市立第八中学校

参加者：寝屋川市立第八中学校3年生170名

ファシリテーター：建築学科学生11名＋大学院生1名＋教員2名（計14名）

今回の見どころ

寝屋川市立第八中学校の現3年生は、中1から3年間、防災学習を行ってきました。最後の防災学習として摂南大学生がファシリテーターとなり12月7日に全校生徒による実働型避難訓練を実施することになりました。実働型避難訓練とは、実際に学校で地震が起こった場合を想定して、学校の施設被害が発生し避難経路が制限される中、グラウンドまで避難する訓練です。当日の訓練をより理解してもらう為に2日前の12月5日に事前学習を行いました。事前学習では当日の概要説明やクラス単位での作戦会議を行うことにしました。

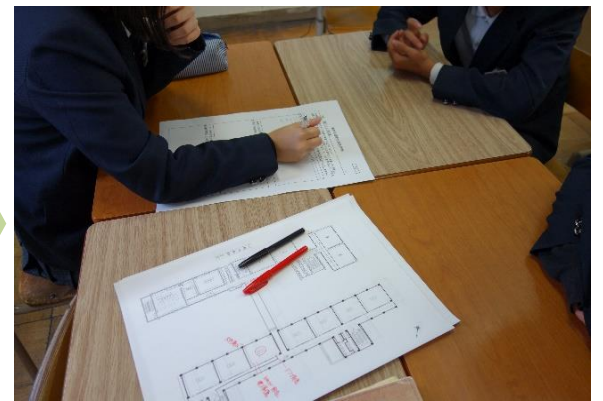
プログラム実施風景



事前学習開始前、教室をお借りして、事前学習の流れを最終確認しました。



各教室で当日の訓練の説明を行いました。説明時間に注意しつつ、理解してもらうことを意識しました。



事前学習の様子。平面図上に避難経路でどんな被害が起こるかを、生徒間で話し合いながら書いてもらいました。



わからないことがあればすぐに私たちに聞いてくれました。とても真剣に取り組んでいることが伝わりました。



別室にて、ケガ人役となる生徒が演技指導を受けています。ケガ人役以外の生徒はこの事を知りません。



ケガ人役はゼッケンを着用し、ケガ人を演じてもらいました。出血している想定で、大声で「痛い！痛い！」と叫ぶ練習をしました。

プログラム実施結果

プログラム開始前は、「みんな予定通り取り組んでくれるだろうか」、「つまらなくて飽きてしまうんじゃないだろうか」と思い、とても不安でした。しかし、寝屋川市立第八中学校の生徒の皆さんは説明開始時からとても真剣に聞いてくれ、その後の事前学習でも実際に起こった時の危機感を持ちながらディスカッションが行われました。生徒の皆さんが2日後の訓練を楽しみにしているようにも感じました。その思いを裏切らないためにも訓練本番は必ずこの避難訓練を成功させようと思いました。

参加いただいた寝屋川市立第八中学校の生徒の皆様、先生の皆様、ご協力ありがとうございました。皆様に心から感謝申し上げます。